

## 松下国際財団 研究助成 研究報告

【氏名】 林 幸司

【所属】(助成決定時) 亜細亜大学国際関係学部非常勤講師(他)

【研究題目】 近代中国におけるビジネススクールの誕生と展開—中米比較の視点から

### 【研究の目的】

1920年代から30年代にかけて、中国では国産品振興運動の展開とともに、経済発展の黄金期を迎えていた。上海を中心とする都市部では、綿紡織業などの近代的産業が相継いで設立され、同時に産業金融が発展し、近代株式銀行(新式銀行)が成長をとげた。一方で、これらの企業には、1920年代に本格化した、アメリカ系の教会学校を中心とするビジネススクールにおいて養成された人材が送り込まれた。当時これらの企業で活躍した新たな人材は、世界で同時代的に展開していたビジネス教育の最先端を吸収し、徒弟制度にもとづく伝統的企業のありかたを塗り替え、近代的企業の発展を支える基礎的存在となっていた。そして、中国の商業界・財界における中心的地位を形成していくのである。本研究は、近代中国におけるビジネススクールの誕生とその展開に注目し、近代中国における近代化および企業化を、人材養成の側面から実証的に解明することを目的とする。

### 【研究の内容・方法】

本研究では、ビジネススクールの誕生と展開について、以下のテーマを中心に検討した。第一に、だれがこれを設立し、それがどのような背景を持っていたのかという問題について、当時最も著名であった St. John's University Shanghai(SJUS)に注目し、大学を基礎とするビジネススクールの誕生の経緯について検討した。第二に、どのような教育が行われたのかという問題である。ビジネススクールは、第一次世界大戦以降の経済危機に伴う近代化戦略の一環として、欧米を中心に同時代的に展開した。これが中国ではどのように制度化され、どのような内容をもっていたのかについて、主としてアメリカの事例と比較しながら検討した。

これらのテーマについて検討するため、本研究では以下のような調査を行った。

(1)中国上海市档案馆における資料調査:上海市档案馆には、10000件を超えるSJUS関連資料が体系的に保存されており、その中には議事録や書簡など、大学運営に関する貴重な情報源が含まれている。申請者はこれらの資料を網羅的に閲覧し、同大学についての一次資料を収集した。

(2)上海社会科学院図書館における資料調査: SJUSは、1950年代に複数の大学へ改編されているが、そのうち同大学図書館蔵書は、現在上海社会科学院に移管されている。ここでは大学が発行していた雑誌資料を中心に、大学の教育内容に関する資料を閲覧した。また、同院研究員の周武氏との交流を通して、研究遂行に際する貴重な指摘と示唆を得た。

(3)これらの現地調査による成果をもとに、アメリカを中心とする他地域のビジネススクールとの比較を行い、中国において誕生・展開したビジネススクールの、世界的状況のなかでの位置づけを試みた。

上記の現地調査および検討の初歩的成果については、「近代中国におけるビジネススクールの誕生と展開」と題して、学会発表を行った(政治経済学・経済史学会 2009年度全国大会)。今後これらを基礎に、学術論文として公表する予定である。

### 【結論・考察】

1920年代以降の中国では、教会学校に設置されたビジネススクールを中心に、商業実務を担う人材の養成がすすめられた。これらの教育は、欧米人のカウンターパート(いわゆる買弁)養成を主体としていたそれまでの人材養成を、中国人経営者養成を主体とするものへと変化させていく。また同時に、中国人同窓会組織を通じた強固な人脈関係が形成されていった。当時、中国で発展しつつあった近代的企業においては、こうしたビジネススクール出身の人材が様々な活動を行っていくこととなる。これらの企業で活躍した新たな人材は、世界で同時代的に展開していたビジネス教育の最先端を吸収し、徒弟制度にもとづく伝統的企業のありかたを塗り替え、近代的企業の発展を支える基礎的存在となっていた。そして、中国の商業界・財界における中心的地位を形成していくのである。